

公開シンポジウムのお知らせ

<パネルディスカッション>

個人情報保護法改正と報道の自由 ——国民の知る権利は脅かされるのか

個人情報保護法の施行以後、情報提供者の過度な萎縮や、同法に名を借りた情報隠しが広がっています。昨年9月に成立した改正個人情報保護法はパーソナルデータの活用を促進する一方、世の中の情報流通に対する規制を強化する面があり、さらなる萎縮・情報隠しを引き起こす可能性があります。

シンポジウムでは、改正法の概要と報道との関係における問題点を指摘するとともに、データジャーナリズムの進展なども念頭に、報道機関が同法とどう向き合うべきかを考えます。また、同法への過剰反応などに伴う「社会全体の萎縮」に警鐘を鳴らすとともに、報道機関に求められる役割は何かを議論します。

パネリスト

奥村 信幸 氏（武蔵大学社会学部教授）

山本 和徳 氏（個人情報保護委員会事務局・参事官）

奥山 俊宏 氏（朝日新聞東京本社編集委員）

青島 顕 氏（毎日新聞東京本社社会部）

コーディネーター

宍戸 常寿 氏（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

日時：2月10日（水）午後6時～8時30分

（受付開始午後5時30分）

会場：プレスセンターホール

（千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル10F）

参加費：無料

一般社団法人

日本新聞協会

申し込み方法

① ファクス

下記に必要事項をご記入の上、ファクスでお申し込みください。

② メール

氏名（ふりがな）、性別、年齢、職業をご記入のうえ、symp2016@pressnet.or.jp までお申し込みください。

< F A X : 0 3 - 3 5 9 1 - 6 1 4 9 日本新聞協会あて >

ふりがな 氏 名	男 ・ 女	歳	学生 ・ 会社員 ・ その他
連絡先（電話・ファクス・メールアドレスなど） ※昼間に連絡が取れる連絡先を記入してください			

※申し込み締め切り：2月1日（月）必着

※受講証はお送りしません。入場の際にお名前をお伺いします。

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

<最寄り駅>

千代田線・日比谷線 霞ヶ関駅 C4

丸ノ内線 霞ヶ関駅 B2

都営三田線 内幸町駅 A7

JR 新橋駅 日比谷口（S L 広場側）



<お問い合わせ・お申し込み先>

一般社団法人日本新聞協会

編集制作部編集担当・シンポジウム係

〒100-8543 東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル7階

TEL : 03-3591-8721 FAX : 03-3591-6149

メール : symp2016@pressnet.or.jp